

休日当番医など (1月1日~2月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

1月1日(水)	小名浜生協病院	9時~17時	小名浜町小名	53-4374
	花田内科クリニック		錦町	62-5000
	矢吹病院 常磐病院		佐糠町 常磐上湯長谷町	63-1818 81-5522
2日(木)	石井脳神経外科・眼科病院	9時~17時	小名浜林城	58-3121
	榎田病院		植田町	63-3202
	森のこどもクリニック		植田町	38-7227
	かとう内科クリニック		常磐西郷町	72-0072
3日(金)	かしま病院	9時~17時	鹿島町下蔵持	58-8010
	呉羽総合病院		錦町	63-2181
	ゆうクリニック		植田町	63-1611
5日(日)	さかもと内科胃腸科クリニック	9時~14時	常磐関船町	72-2022
	中央台たなか眼科		中央台高久	29-1722
	山口医院		平作町	24-1811
	後田内科クリニック こうじま慈愛病院 春山医院		小名浜橋本 錦町 常磐下湯長谷町	92-1222 63-5141 44-4011
12日(日)	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	いづかクリニック		小名浜中町境	52-2225
	なこそ病院		勿来町	65-7755
	いわき湯本病院		常磐湯本町	42-3188
13日(月)	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	門屋整形・内科		小名浜鳥居北	54-4047
	いわぶちクリニック		錦町	63-1501
	いわき草木台総合クリニック		草木台	28-1145
19日(日)	山口医院	9時~17時	平作町	24-1811
	中村病院		小名浜大原	53-3141
	榎田病院		植田町	63-3202
	箱崎医院		常磐関船町	42-3131
26日(日)	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	坂本整形外科医院		平豊間	38-2830
	洋向台クリニック		洋向台	55-5150
	こうじま慈愛病院 織内医院		錦町 常磐関船町	63-5141 44-1133
2月2日(日)	中央台たなか眼科	9時~14時	中央台高久	29-1722
	山口医院		平作町	24-1811
	磐城中央病院		小名浜南富岡	53-3511
	なこそ病院 せき整形外科クリニック		勿来町 常磐西郷町	65-7755 84-9905
9日(日)	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	みちや内科胃腸科		小名浜住吉	58-4180
	呉羽総合病院		錦町	63-2181
11日(火)	いわき湯本病院	9時~17時	常磐湯本町	42-3188
	須田医院		小島町	27-6060
	かしま病院		鹿島町下蔵持	58-8010
	こじま内科 常磐病院		遠野町上遠野 常磐上湯長谷町	74-1500 81-5522

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

日曜 小児専門当番医 9時~12時

1月	5日	やまぎわこどもクリニック	郷ヶ丘	28-8686
	12日	いわき草木台総合クリニック	草木台	28-1145
	19日	若松医院	平大町	22-3838
	26日	ながい小児科	平上荒川	28-2535
2月	2日	渡辺クリニック	平南町	25-1170
	9日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505

休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】	
須田医院 (小島町)	8時30分~12時 ☎27-6060
1月19日	
【泌尿器科】	
常磐病院 (常磐上湯長谷町)	9時~15時 ☎81-5522
1月2日・3日・5日・12日・13日・19日・26日	
2月2日・9日	

【眼科】

中央台たなか眼科 (中央台高久)	9時~14時 ☎29-1722
1月12日・19日・26日	
2月9日	

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時~23時 土曜日：20時~翌朝7時
日曜日：14時~18時、19時~23時
祝日、1月2日・3日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日、1月2日・3日：9時~12時、13時~16時 (受付終了時間15時30分)

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時~翌朝8時

○休日夜間診療 (往診)【内科・小児科等】

いわきFCクリニック (常磐上湯長谷町) 15時~25時 ☎88-7706
1月・2月 土・日曜日、祝日、1月2日・3日

※事前に電話連絡が必要です。※1月1日~5日は15時~翌朝5時となります。

●かかりつけ医を持ちましよう

●オンライン診療をやめましよう

●救急車は適正に利用しましよう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <http://www.iwaki.or.jp/>)

市民の健康教室



提供・問い合わせ
一社いわき市医師会
☎38-4201

潰瘍性大腸炎

潰瘍性大腸炎は慢性的に大腸に炎症を起こす疾患です。血便や血液に粘液が混じる粘血便が見られるのが特徴です。原因は不明で再発を繰り返すことが多いことから、指定難病に分類されています。人口の約六百人に一人が発症し、指定難病の中では発症者数が最も多い疾患です。二十歳代が最も多く発症しますが、小児や五十歳以上の年齢層でも発症し、男女差はありません。

潰瘍性大腸炎は肛門のすぐ上の直腸から炎症が切れ目なく続くのが特徴的で、直腸だけの狭い範囲にとどまることもあれば、大腸全体に及ぶこともあります。炎症の範囲が広いほど病状は重くなる傾向にあります。軽い下痢が続き、次第に血液が混じるといった経過で発症することが多く、より重症になると血便の回数が多くなり、腹

痛や発熱、貧血といった症状が加わってきます。治療は炎症の原因である免疫の暴走を抑える薬剤が使われます。重症の場合は外来の治療だけでなく、症を抑えられることが多いですが、重症の場合や治療の効果が得られない場合は、入院治療や大腸の手術が必要になる事もあります。

炎症の範囲が広い場合は、十年で二百人に一人、二十歳で二十五人に一人と、長期化するほど大腸がんになる確率が高くなります。長期化する場合は、定期的な大腸内視鏡検査が必要になります。血便は、他の疾患を疑う際にも重要な症状となりますし、潰瘍性大腸炎は治療開始が遅れると効果が得られにくくなる傾向がありますので、血便が出たときには速やかに大腸内視鏡の検査が可能な病院に相談しましよう。

放射線科医療録⑩

MRによるがんのスクリーニング診断
十五年ほど前に、東海大学工学部医用生体工学科の高原太郎教授が、体幹部の拡散強調画像というユニークな撮像法を開発しました。この方法で全身のMRI画像を撮ると、体幹部に生じたがんの病巣を明瞭に描き出すことができます。これは、がんの病巣内では水分子の動きが正常組織と比べて低下するため、がんの病巣を異常信号としてはっきりと捉えることができるからです。得られた画像は、原理は異なりますが、PET(陽電子放射断層撮影)の画像

によく似ています。その後、MRI装置の進歩・改良とともに、この撮像法による検査が、全身を対象としたがんの転移の検出、またはがんの拾い上げなどを目的に、少しずつ普及してきました。この検査法は事前の処置が不要で、短時間で終了します。また、X線の被ばくがなく、繰り返し行うことができます。そのため、身体的・経済的な負担が少なく、がんの疑いを発見するスクリーニングを行うのに適しており、がんの疑いが気になる方や、がんの危険因子に多く当てはまる方に勧められる検査法です。

けんこうQ&A

血液内科⑩

鉄欠乏性貧血の治療
Q 検診で赤血球の値が低いと言われたのですが、どうしたら良いでしょうか?
A 女性の五人に一人は貧血といわれています。鉄分が足りない鉄欠乏性貧血の場合には、鉄剤の内服が有効ですが、人によって吐き気を催したり、便秘になったりするなどの副作用があります。このような場合、鉄剤の飲み方を工夫することで対処が可能です。一般的な処方では鉄剤を朝・夕の食後に一錠ずつ毎日内服するというものですが、寝る前に半錠を一日おきに内服するだけでもほとんどの鉄欠乏性を改善させることができます。鉄剤の飲み方を工夫することで、鉄分を短時間で速やかに補充する効果はありますが、痛みが伴うことや、通院が大変であることから、長期的な補充を要する場合には向きません。

貧血は少しずつ回復し、副作用も軽減されます。さらに、ビタミンCと同時に内服することで、鉄の吸収が高まるとされています。また、一般的な食事に含まれる鉄分は鉄剤に比べるとだいぶ少なく、鉄分が多く含まれるレバーやホウレンソウなどの食品を多く摂取しても、不足した鉄分を補うことができないばかりか、栄養が偏るのでお勧めしません。